

大王まちだより

発行/編集
大王地区まちづくり協議会
広報部会
宇陀市榛原下井足
825番地
(農林会館内2F)

大王地区まちづくり協議会

会長 高見 喬宏

地域力の

向上を目指して

あけましておめでとうございます。地域と地域、人と人、心と心をつなぎ、大王地区の地域力をより高めることを目指して設立された「大王地区まちづくり協議会」も、七度目の新しい年を迎えることができました。昨年はコロナ禍ということもあり、4月からの



下井足嶽山から西方望む

謹賀新年

「コロナ禍における催しが出来たことには、「わが地域じまん祭」そのもの、大王地区の地域力ではないかと思えます。私たちはこの地域力を次世代に繋いでいくことが、「まちづくり」の大きな目的だと思いますので、「地域力の向上」を目指して、今年度も役員一同努力してまいりますので、ご協力・ご指導よろしくお願い申し上げます。

会議・集会・催しができず、地域が疲弊していったのではないかと心配する毎日でした。特に、大王地区まちづくり協議会のメインの催しである「わが地域じまん祭」を実施すべきかどうか悩むところでありましたが、総務委員会において相談したところ、万全の対策をとって実施することと決定いたしました。今回は販売するところのみ、「コロナ禍における活動の工夫」を主目的として考えられる対策を取り当日を迎えたところ、役員・参加者の皆様も一つのルールの中で整然と動いていただき、無事終了することが出来ました。

第6回ミニ文化祭 ～わが地域じまん祭～ コロナ禍感染症対策工夫し開催

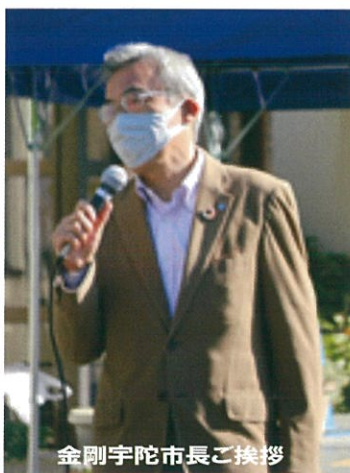


高見会長あいさつ

昨年の1月頃からの新型コロナウイルス感染症により市・学校・地域での行事が、次々と中止になる中、9月から部会長役員会及び総務委員会での話し合を数回重ね、第6回ミニ文化祭「わが地域じまん祭」開催は、コロナ感染症対策を十分工夫して行うことで開催することができました。

11月15日は、前日の準備同様朝から晴天・温暖で、10時開会の15分前には続々と地域の人々が集まりました。森本彰一イベント部会長の司会進行で開会が始まり、高見喬宏会長の開会あいさつでは、大王地区の人々は、気持ちが一緒になれば、何かあればわが地域を盛り上げようと気持ちが高く、地域と地域を結びそして人と人をつ結び、心と心を結びまちづくり協議会としてやって来ましたが、地域にはほかに比べ観光資源はないですが、自然に恵まれた農産物が沢山あります。無い物は、時間がかかっても私たちが作ればいいし、その柱としては、私たちが持っている物のじまんは、自分らが作りだすものと思います。そして、コロナ禍で開催すれば他から批判が出る心配もありますが、役員会議議の中で、「いやいや違うで。」ウイズコロナの感染症対策として見本となるような実践をして開催したらいいのではとの声が上がりました。

最後に、まち協だよりにも掲載しましたが、「コロナ感染者への心ない中傷や誹謗、偏見が起らないような地域づくりを心がけていただけますようお願いとご協力をお願いします。」との兼ね合いもあり実践して行くことの大切さを強調されたあいさつがありました。



金剛宇陀市長ご挨拶

次に、ご来賓代表として金剛宇陀市長さんからお祝いの言葉の中で、特に「じまん祭」



来場者の検温チェック



と云うことで興味を持ち今日は、自分でも楽しんでみたいと思いましたが、また十分にコロナ感染対策がされている様子を拝見して、この厳しい状況下において役員の皆さんの事前準備された頑張りへの敬意を払います。とお言葉をいただきました。

ご来賓者として、地元市議会議員多田與四朗さん、まちづくり支援課山口課長さん、同課アドバイザー吉田さんのご出席いただきました。また、メディアネット宇陀から



来場者受付・除菌



粗品進呈受付

催物の取材もあり、後日放映とのことです。今回は、約2時間の短い「わが地域じまん祭」でしたが、地域の人々のほか多く来場者で賑わい、受付時の検温チェックや手の消毒、各物産等販売コーナー、作品展示場での秩序ある行動により無事に終了しました。来場者は約160名でした。



フランクフルトバザー



新鮮野菜バザー



米ぬかクッキー販売



大和当帰他農産物展示



作品展示

編集後記

昨年の「わが地域じまん祭」開催は、万全のコロナ感染対策を図り、地域の皆様のご協力とでなしたことと思います。

ウイズコロナの時代、互いにリスクを避け行動して頑張りましょう。!!!

りゅう



好評アマゴの塩焼き



作品展示